



平成30年7月10日

鉄道駅における自転車用工具等の無料貸出について

～北海道のサイクルツーリズムのモデルルートと連携した取組～

北海道開発局及び北海道では、北海道総合開発計画（平成28年3月閣議決定）や、自転車活用推進計画（平成30年6月閣議決定）に位置付けられたサイクルツーリズムの推進に関する取組を、関係機関と連携を図りながら、全道5つのモデルルートで試行しています。

この度、JR北海道旭川支社では、このモデルルートの一つである「きた北海道ルート」に沿ったJR宗谷本線において、サイクリストの利便性向上の一助として、ルート上の一部有人駅に自転車用工具及び空気入れを設置し、無料で貸し出しするサービスを開始しますので、お知らせいたします。

JR北海道旭川支社の取組の詳細については、別紙をご参照ください。

【問合せ先】北海道旅客鉄道株式会社 旭川支社 営業企画G（電話：0166-24-0640）

（参考）

- ・「北海道におけるサイクルツーリズムの推進に関する取組（北海道開発局・北海道）」については、参考資料1をご参照ください。
- ・「北海道における新たな鉄道旅行需要の創出（北海道運輸局）」については、参考資料2をご参照ください。

【問合せ先】国土交通省 北海道運輸局 鉄道部 計画課（電話：011-290-2731）

【問合せ先】

国土交通省 北海道開発局 稚内開発建設部

道路計画課 課長 このの ひでかず 今野 秀一（電話：0162-33-1146）

稚内開発建設部ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/wk/>

稚内開発建設部公式Twitterアカウント @mlit_hkd_wk



2018年7月10日
JR北海道旭川支社

宗谷本線一部有人駅におけるサイクリストへの自転車用工具等の無料貸出サービスについて

これまで宗谷本線では、「青春18きっぷ」のご利用期間中を中心に、多くのサイクリストが沿線を訪れ、自転車をお持ち込みのうえ、一部区間を普通列車にてご利用いただいております。

このたび、当社では国土交通省及び北海道にて推進している「北海道のサイクルツーリズム」のモデルコースの1つとなっている「きた北海道ルート」が宗谷本線に沿ったルートで設定されていることから、サイクリストの利便性向上の一助として、ルート上の一部有人駅に自転車用工具及び空気入れを設置し、無料貸出しするサービスを試験的に開始いたします。

より多くのサイクリストが魅力溢れるきた北海道へ訪れていただくとともに、宗谷本線の有人駅へもお立ち寄りいただけるよう多くのサイクリストのご利用をお待ちしております。

1. 貸出工具等

- (1)ロードバイクメンテナンスセット
- (2)ワンタッチフロアポンプ



2. 貸出期間

2018年7月14日(土)～2018年9月30日(日)

3. 貸出駅の営業時間

- | | | | |
|----------|-------|---|--------|
| (1)名寄駅 | 7時40分 | ～ | 17時05分 |
| (2)音威子府駅 | 8時15分 | ～ | 16時10分 |
| (3)幌延駅 | 7時10分 | ～ | 15時00分 |
| (4)南稚内駅 | 6時10分 | ～ | 18時00分 |
| (5)稚内駅 | 6時20分 | ～ | 17時50分 |

駅によっては営業時間中に途中休止する場合があります。詳しくは各駅へお問い合わせください。臨時列車の運転等により、営業時間が変更となる場合がございます。予めご了承ください。

4. 貸出方法

- (1)貸出可能な時間は、上記、貸出駅の営業時間内に限ります。
- (2)貸出ご希望の際は駅係員までお申し付け下さい。無料で貸し出しいたします。
- (3)使用後は駅係員へご返却下さい。

5. その他

列車内に自転車をお持ちいただく場合は、解体し専用の袋に収納したもののまたは、折りたたみ式自転車においては折りたたんで専用の袋に収納したものととなります。

貸出駅(南稚内駅は除く)では、訪れた駅でしかご購入いただくことができない「JR北海道わがまちご当地入場券」(1枚170円)を発売しております。ご旅行の記念やお土産等にお買い求めください。詳細については、当社ホームページでお確かめください。

北海道のサイクルツーリズム推進（進め方）

北海道総合開発計画
（平成28年3月閣議決定）

北海道において、アジアの中でも特徴的で魅力的な観光資源を活かしながら「世界水準の観光地」を目指しています。

自転車活用推進法
（平成29年5月施行）

基本方針の中に「観光旅客の来訪の促進その他の地域活性化の支援」と記載されています。

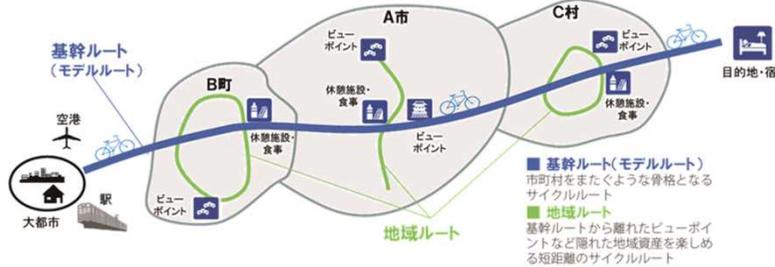
H29年2月～

北海道のサイクルツーリズム推進に向けた検討委員会

北海道におけるサイクルツーリズムを推進するため、先進地域の取組等も踏まえつつ、自転車の走行環境、受入環境の改善・充実を図るための方策や、サイクリストも参画した効果的な情報発信の方策、持続的に取り組みを進めるための体制や役割分担などについて審議するため、有識者等による検討委員会を設置しています。

H29年7月

モデルルートの設定



道内全自治体にヒアリングを実施し、市町村をまたぎ広域で連携した取り組みを既に実施しており、試行に協力を得られる活動主体が存在するルートを、モデルルートとして設定しました。

北海道のサイクルツーリズム推進方策 とりまとめ
（H30年度予定）

世界水準のサイクリング環境を構築

試行しているモデルルート

参考資料1



モデルルートによる試行において検証する内容

>> 受入環境の充実

■ サイクリング拠点の環境整備

地域との連携により、道の駅や観光施設等の立ち寄り施設にサイクルラックや工具の設置を拡充するなど、サイクリストのニーズや満足度を検証しています。



道の駅 もち米の里のなる (名寄市)

道の駅 ヒア 21 しほろ (士幌町)

■ 地域と連携した取り組み

モデルルートを活用したサイクリングツアーの実施や、様々な交通手段を活用しサイクリストが移動しやすい観光ルートの検討など、北海道の魅力を満喫できるような環境整備を、地域と連携して取り組んでいます。



台湾からのサイクリングツアーを招請

利尻島内の路線バス車内への自転車積み込み

>> サイクリストとのコミュニケーション

■ コミュニケーションサイトの開設

コミュニケーションサイトによってモデルルートの地図や位置情報、ビューポイントやトイレ、休憩施設などのスポット情報を提供するとともに、サイクリストの皆様からの評価・意見を取り入れています。

 <https://cycle-hokkaido.jp/>

>> 自転車走行環境の改善

■ 案内看板の設置

サイクリストが迷わず安心して走行できるよう、案内看板を設置(貼付)し、視認性やわかりやすさ等を検証しています。



国道 38 号 (浦幌町)



【案内看板の例】
ルート番号は北から順に付番しています

■ 路面表示 (矢羽根) の設置

自転車の通行位置をサイクリストとドライバーの双方に示し、安全で快適な道路交通環境を確保するため、交差点及び急カーブの一部に矢羽根型の路面表示を設置し、効果を検証しています。



国道 238 号 (稚内市)



【設置している路面標示】



【コミュニケーションサイト画面の例】
日本語・英語の両方に対応しています

現地でもルートに関する情報が収集できます

北海道の特徴を活用

■ 北海道らしいアクティビティ

北海道の魅力である自然を存分に満喫できるよう、サイクリングのみならず様々なアクティビティの可能性を探っています。また広大な農地や新鮮な食材を提供する農業体験施設の情報発信をするなど、農業団体と連携した取り組みをすすめています。



天竜川でのカヌー体験

体験牧場での農業体験

■ 幅広路肩の活用

冬期の堆雪スペースとして道路の左側部分に広い路側帯が確保されており、著しく歩行者の通行を妨げない場合(路側帯幅 > 1.5m)は、路側帯の通行を積極的に誘導することでより安全な走行環境の確保に向け、効果を検証しています。



冬期

路側帯
(確保済み)

夏期

路側帯
(自転車走行空間)

■ 河川空間を利用したルート設定

河川空間を積極的にサイクリングルートとして取り入れることで、北海道の雄大な河川景観を楽しめるような取り組みをすすめています。



石狩川 (旭川市)

天竜川 (中川町)

第4回北海道のサイクルツーリズム推進に向けた検討委員会
(平成30年3月19日開催)資料より抜粋
今回の取り組みに関連する記載を で表示

北海道における 新たな鉄道旅行需要の創出について

国土交通省 北海道運輸局

北海道の豊富な観光資源を活用した観光列車の運行

- ・ JR北海道の線路を開放して、意欲のある外部事業者を国内外から広く公募し、魅力ある多様な観光列車を運行させる仕組みを検討
- ・ 北海道の恵まれた自然環境を活かし、2017年に施行された自転車活用推進法に基づく取組と連携しながら、世界最高水準のサイクリング環境の実現に向け、自転車旅行者に使いやすい鉄道サービスを提供

北海道観光の最大の玄関口である新千歳空港アクセス路線のサービスの改善

- ・ 2020年に快速エアポートの運行本数を増加し、輸送力を大幅に増強。車内のWi-Fi化を完了
- ・ さらに、新千歳空港駅の改修等により、空港アクセス路線のインバウンド向けサービスを改善

日本の観光地への訪問意欲	
第1位	東京(45%)
第2位	北海道(43%)
第3位	富士山(41%)
第7位	札幌(25%)
第19位	函館(9%)



世界各国で豪華観光列車を運行するベルモンド社のイースタン&オリエンタルエクスプレス(タイ国鉄及びマレー鉄道公社の路線を利用)



JR北海道の路線でも自転車を車内に持ち込むニーズが高まっているが、現在、利用者は自転車を専用の袋に入れて運んでいる

「アジア・欧米豪 北海道観光に関する訪日外国人旅行者の意向調査」(平成29年・日本政策投資銀行)
アジア圏の個人旅行者に「実際に行ってみたい日本の観光地」を尋ねたもの

